

防災楽しく学ぶ

小松島
坂野小



災害への備えの大切

さや災害時に役立つ知識を学び、安心・安全な街づくりを目指す催し「みんなで体験！防災教室」（「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会主催）が1日、小松島市坂野町の坂野

小学校で開かれた。約100人の児童が参加し、毛布で応急的に作った担架で負傷者に見立てた人形を運ぶなど、楽しみながら防災について学んだ。

会場となった体育館と教室では、水書の知識や正しい避難方法を伝える紙芝居や、被災時を想定した紙食器作り、非常時持ち出し品を覚えるクイズなど8種類のプログラムを、

保護者や地元ボランティアらが用意。児童は十数人ずつ8チームに分かれて、プログラムが行われる会場を回り、成功すればもらえるスタンプの数を競った。参加した6年生の中山優音さんは「身の周りにある道具を工夫して使うのは難しかったけど、楽しみながら防災のことを学べてよかった」と話していた。

【数野智史】



負傷者に見立てたカエルの人形を毛布で作った担架で運ぶ児童たち
＝小松島市坂野町の坂野小で